

# NANO TECHNOLOGY FORUM

## ナノテクノロジーフォーラム

### 早稲田大学ナノテクノロジーフォーラムとは

早稲田大学ナノテクノロジーフォーラム(略称NFM)は2004年よりナノテクノロジーによる産業立国を期して、早稲田大学がナノテクノロジーに関する産官学の連携を進める「場」として誕生しました。

ナノテクノロジーは今やモノづくりの基盤拠点として様々な産業分野で用いられています。そこで、NFMは早稲田大学のナノテクノロジーの研究拠点であるナノ・ライフ創新研究機構を母体としてより広い産業分野と連携を深め、相互補完によって研究成果の社会還元、人材育成、産学協働等によるナノテクノロジーの研究拠点形成展開活動を支援することを目指していきます。

### 早稲田大学ナノテクノロジーフォーラムの概要

NFMは「健康・医療」「環境・安全」「クリーンエネルギー」「グリーンエレクトロニクス」「加工・計測・分析」の5つの研究分野について各種活動を行っています。



若手交流・勉強会

会員企業による技術紹介

企業見学会

### 早稲田大学ナノテクノロジーフォーラムの活動

#### STEP1 情報共有および技術者養成 ~産・学が触れ合うキッカケを作ります~

研究者が推進している最新の研究成果や、基礎となる知見をシンポジウムや出張講演で提供することにより産学連携の協働に結び付けます。また、ナノテクノロジーの最先端技術者に協力しています。

シンポジウム・セミナー ..... NFM主催のシンポジウムや共催セミナー等を通じて、最新情報の発信や、意見交換を行っています。

会員企業による技術紹介 ..... NFM会員企業様による、最新技術などの意見交換会を行っています。

出張講演 ..... ナノ・ライフ創新研究機構に所属する教授および研究者が直接企業に出向き、最新の研究成果などを講義をいたします。社内研修会やサロン会などでご活用下さい。

企業見学会 ..... 本学研究者や異業種他社の会員様と共に、企業や公的な研究機関等を訪問する企業見学会を開催しています。

若手交流・勉強会 ..... 会員企業様の若手を対象に、早稲田大学の研究者および、企業経営のプロフェッショナルを講師とした勉強会を開催しています。

NFM Award ..... 研究者支援を目的として、年に1回、研究業績に基づく選考を行い、育成およびイノベーション創出に向けた助成をしています。

#### STEP2 個別共同開発、受託研究 ~産・学が協働で社会貢献を目指します~

ナノ・ライフ創新研究機構に所属するプロジェクト研究所群が推進する、グリーンサイエンス・ライフサイエンスの最新・最先端の研究成果を反映させることにより、産業界と協働して新技術を確立し、Made in JAPANで社会に貢献していくことを目指します。

#### STEP3 産学協働大型研究

STEP2の具体的な成果を基盤として、チーム編成を行い大型研究費の申請・獲得に取り組みます。新製品の開発により、役割分担として企業は産業発展に寄与、大学は研究成果を広く公知し、社会貢献に努めます。

【例】大手電機メーカー数社と、ナノ・ライフ創新研究機構が協働し、スマートコミュニティシステムの構築に向けた実証研究を推進しています。  
系統用大型蓄電池の運用及び安全性評価を本庄研究センターで展開しています。

### 入会方法

会員種別および会費をご確認の上、裏面「早稲田大学ナノテクノロジーフォーラム事務局」へお申込み下さい。

\*会費は1口の年額を以下の通りとし、1口以上をお申込み下さい。入会金はありません。

会員種別	会員資格	年会費
法人会員A	ナノテクノロジーフォーラムの趣旨に賛同する企業・団体等	10万円
法人会員B	ナノ・ライフ創新研究機構において100万/年以上の共同研究・受託研究をしている企業・団体	免 除
法人会員C	CESS(Consortium on Energy Storage System)会則に定める ※入会については別途ご相談下さい。	免 除
賛助会員(個人会員)	ナノテクノロジーフォーラムの趣旨に賛同する個人	2万円
学内会員	早稲田大学に所属する教職員・研究員	免 除